国語　トライシート　三―①―一　　　名前

**和語・漢語・外来語**

【解説】

 和語 は、もともと日本で使われていた語だよ。平仮名で書かれたり、漢字の訓読みで表

されたりするよ。親しみやすく、意味をとらえやすいので、日常会話でよく使われるよ。

 漢語 は、漢字の音読みが使われている語だよ。漢語は、抽象的な意味を表し、硬い語感

　をもつ傾向があって、ニュースや新聞などでよく使われるよ。

 外来語 は、漢語以外で外国語から日本語に取り入れられた語だよ。外国から入ってきた

物の名前や学問の用語、新しい感覚を表すのに使われるよ。

　 混種語 は、和語・漢語・外来語が組み合わさってできた語だよ。

「花火大会」（和語＋漢語）や、「古タイヤ」（和語＋外来語）や、「インスタント

食品」（外来語＋漢語）などは、混種語だね。

練習

次の表の①～⑤に当てはまる言葉を、後の　　　　　　　から選んで書きましょう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 手引き | くらし | ① | 和　　　語 |
| ⑤ | ③ | 果実 | 漢　　　語 |
| マニュアル | ④ | ② | 外　来　語 |

桃　　ライフ　　くだもの　　説明書　　フルーツ　　生活　　ナイフ

解答　①くだもの　②フルーツ　③生活　④ライフ　⑤説明書

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　知っている和語、漢語、外来語、混種語を、できるだけたくさん書いてみよう。

①　和語

②　漢語

③　外来語

④　混種語

国語　トライシート　三―①―二　　　名前

**熟字訓**

【解説】
 熟語の中には、漢字一字ごとに音や訓で読むのではなく、一つのまとまりとして

特別な読み方をするものがあり、それらを 熟字訓 というよ。

　ふだんよく使う言葉の中にも熟字訓で読むものがあるので、覚えておくといいね。

練習

次の熟字訓の読み方を、平仮名で書きましょう。

①　五月雨　　　　　　　　　　　　　②　木綿

③　吹雪　　　　　　　　　　　　　　④　風邪

⑤　相撲　　　　　　　　　　　　　　⑥　乙女

⑦　浴衣　　　　　　　　　　　　　　⑧　名残

解答　①さみだれ　②もめん　③ふぶき　④かぜ

⑤すもう　⑥おとめ　⑦ゆかた　⑧なごり

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　知っている熟字訓を、できるだけたくさん書いてみよう。

国語　トライシート　三―①―三　　　名前

**熟語の読み方**

【解説】

熟語は、上の漢字が音読みなら下の漢字も音読み、また、上の漢字が訓読みなら下の漢字も

訓読みになることが多いよ。ただし、次のような読み方もあるよ。

「読み」は、「重」が音、「箱」が訓なので、上の漢字が音読み、下の漢字が

訓読みをするものをいうよ。

「読み」は、「湯」が訓、「桶」が音なので、上の漢字が訓読み、下の漢字が

音読みをするものをいうよ。

練習

　　次の熟語の読み方を、後のア～エから選んで、記号で答えましょう。

①　夕刊　　　　　　②　長袖

③　住居　　　　　　④　両脇

⑤　気軽　　　　　　⑥　手本

⑦　着物　　　　　　⑧　入浴

ア　音と音　　イ　訓と訓　　ウ　重箱読み　　エ　湯桶読み

解答　①エ　②イ　③ア　④ウ　⑤ウ　⑥エ　⑦イ　⑧ア

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　次の読み方をする熟語を、できるだけたくさん書いてみよう。

①　音と音

②　訓と訓

③　重箱読み

④　湯桶読み

国語　トライシート　三―②―一　　　名前

**文法―文節の対応**

【解説】

人と話しているときや文章を書いているときに、思いつくままに進めていると、最初に置い

た主語と述語が、うまく対応しないことがあるね。主語（部）、述語（部）の関係は、

「何（誰）が」「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる」「ない」

のどれかの形になるよ。どの文節がどの文節に対応しているかを意識して、

話したり書いたりしよう。



練習

　　次の文は 主語（部）と 述語（部）の対応が不適切です。主語（部）と 述語（部）が適切に対応するように、述語（部）を直しましょう。

　①　私の夢は、介護や福祉に関する仕事をしたいです。

②　人と接するとき、私が心がけるのは、常に相手の気持ちを考える。

解答　〈例〉①私の夢は、介護や福祉に関する仕事をすることです。

　　　　　　　　　　　　　 ②人と接するとき、私が心がけるのは、常に相手の気持ちを考えるということだ。



**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　主語（部）と 述語（部）の対応に気を付けて、「今、自分が興味をもっていること」を文に

してみよう。

国語　トライシート　三―②―二　　　名前

**文法―意味のまとまり**

【解説】

文章を書くとき、どこからどこまでをひとまとまりととらえているかを確かめ

ながら書くと、読む人も分かりやすくなるよ。そのためには、読点を打ったり、

文を分けたり、文節の順序を入れ替えたりするといいね。

練習

　　次の文は、二通りの意味に受け取れます。Ａ・Ｂの意味になるように、それぞれ読点を打っ

たり、書き直したりしましょう。

　①　昨日頼んでおいた商品が家に届いた。

　　Ａ　商品を「頼んだ」のが昨日

Ｂ　商品が「届いた」のが昨日

②　山田さんは水野さんと町田さんに演奏会について尋ねた。

　　Ａ　尋ねたのは「山田さん」

Ｂ　尋ねたのは「山田さんと水野さん」

解答　〈例〉①Ａ昨日頼んでおいた商品が、家に届いた。／家に、昨日頼んでおいた商品が届いた。

Ｂ昨日、頼んでおいた商品が家に届いた。／頼んでおいた商品が、昨日家に届いた。

②Ａ山田さんは、演奏会について水野さんと町田さんに尋ねた。

山田さんは、水野さんと町田さんに演奏会について尋ねた。

　　　　　　　　　　　　　　Ｂ山田さんと水野さんは、演奏会について町田さんに尋ねた。

　　　　　　　　　　　　山田さんと水野さんは、町田さんに演奏会について尋ねた。

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆「林さん」が「佐藤さん」と「田中さん」に土産を買ったことが分かるように、文にしてみよう。

国語　トライシート　三―②―三　　　名前

**文法―呼応の副詞**

【解説】

 呼応の副詞 は、その副詞に対応する決まった語句をもつ、副詞の種類の一つ

だよ。決まった言い回しなので、分かりやすい例で覚えておくといいね。

ふだんの生活の中でも積極的に使ってみよう。

練習

　　次の　　　に当てはまる呼応の副詞を、後の　　　　から選んで書きましょう。

　①　赤く染まったが、　　　　　　　燃えているかのように山々を彩っている。

　②　本当にかなえたい夢ならば、　　　　　　　夢への努力をあきらめないことが大切だ。

　③　こんなに雪が降っていては、　　　　　　　客足は遠のいてしまうだろう。

　決して　　　まるで　　　もし　　　たとえ　　　たぶん

解答　①まるで　②決して　③たぶん

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆「たとえ～ても（でも）……」を使って、短文を二つ以上作ってみよう。

国語　トライシート　三―③―一　　　名前

**慣用句**

【解説】

 慣用句 は、身近な物事に関係のある言葉を使ったものが多いよ。もともとの

言葉の意味とは違う意味を表すものが多いので、注意が必要だね。

練習

　　次の　　　線部の慣用句の意味を、後のア～カから選んで、記号で答えましょう。

①　スピーチには自信があるので、僕は胸を張って話した。

②　とても感動したので、私はこの出来事を深く心に刻んだ。

③　風の便りで彼が元気でいることを知った。

④　すずめの涙ほどの報酬であっても、この仕事を成し遂げることは僕の誇りだ。

⑤　彼とは気が置けない間柄だ。

ア　とても少ない様子　　　　　　　　　イ　わかり合えず仲がよくないこと

ウ　遠慮せず気軽に付き合えること　　　エ　どこからか伝わってきた話

オ　しっかりと覚えて忘れないこと　　　カ　得意になり堂々とする様子

解答　①カ　②オ　③エ　④ア　⑤ウ

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　次の慣用句を使って、短文を一つずつ作ってみよう。

　①「頭が下がる」

　②「襟を正す」

国語　トライシート　三―③―二　　　名前

**ことわざ**

【解説】

 ことわざ は、古くから世間で言い伝えられてきた、生活上の知恵や教訓が

込められた言葉なので、共感できるものや身近に感じられるものが多いよ。

ことわざを多く知っておくことで、生活が豊かにもなるね。

練習

　　次のことわざの意味を、後のア～カから選んで、記号で答えましょう。

　①　時は金なり

　②　転ばぬ先のつえ

　③　二階から目薬

　④　情けは人のためならず

　⑤　花より団子

ア　元々強いものが、より一層強くなる。

イ　思うようにならず、もどかしい。

　　　ウ　人への親切は、巡り巡ってやがて自分に返ってくる。

　　　エ　事前に注意していれば、失敗しないですむ。

　　　オ　時間は貴重なものなので、無駄に費やしてはならない。

　　　カ　風流なことよりも、実益を重んじる。

解答　①オ　②エ　③イ　④ウ　⑤カ

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　自分が共感できることわざを、二つ以上書いてみよう。

国語　トライシート　三―③―三　　　名前

**古文―枕詞**

【解説】

 枕詞 は、和歌の表現技法の一つだよ。五七調のリズムを整える働きがあって、

多くの場合、五音から成るよ。ある語を導き出すために前に置く語で、ふつうは

現代語訳しないよ。

練習

　　次の枕詞が導き出す言葉を、後の　　　　 から選んで書きましょう。

　①　あしひきの

　②　白たへの

　③　たらちねの

　④　ひさかたの

　　 母　　　　光　　　　山　　　　衣

解答　①山　②衣　③母　④光

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　練習で出てきた枕詞が入っている和歌を、二首以上書いてみよう。

国語　トライシート　三―④―一　　　名前

**文法―助動詞の意味**

【解説】

助動詞は、用言・体言や他の助動詞などに付いて、意味を付け加えたり、話し手

や書き手の気持ちや判断を表したりする働きがあったね。

これからも、話をするときや文章を書くときに、助動詞を意識するようにしよう。

練習

　　次の　　　線部の助動詞と同じ働きや意味のものを、ア～ウの中から選んで、記号で答えましょう。

①　これは私の本だ。（断定の助動詞）

　　ア　集合時刻は午前八時だ。

　　イ　図書館内は静かだ。

　　ウ　自転車は路地の移動に便利だ。

②　知人に声をかけられる。（受け身の助動詞）

　　ア　先生が教室に来られる。

　　イ　私のアイディアが仲間に受け入れられる。

　　ウ　この道から駅に出られる。

解答　①ア（イ・ウ…形容動詞の終止形）　②イ（ア…尊敬の助動詞・ウ…可能の助動詞）

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　次の助動詞を文末に使って、短文を一つずつ作ってみよう。

①「だ」（断定の助動詞）

　②「られる」（受け身の助動詞）

国語　トライシート　三―④―二　　　名前

**古文―重要古語**

【解説】

古語には、現代語とは意味の異なる語や、現代では用いられない語があるよ。

例えば、「いと」は「たいそう」という意味で、現代とは全く違うよ。

練習

　　次の古語の意味を、後のア～エから選んで、記号で答えましょう。

　①　うつくし

　②　をかし

　③　あはれなり

　④　つれづれなり

　　　ア　風情がある　　　　　　　　イ　しみじみとした趣がある

ウ　特にすることがない　　　　エ　かわいらしい

解答　①エ　②ア　③イ　④ウ

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　覚えている古語と意味を、できるだけたくさん書いてみよう。〈例〉「いと」→たいそう

国語　トライシート　三―④―三　　　名前

**文法―品詞の識別**

【解説】
 同じ「ない」でも、文法上、助動詞か形容詞に分けられるよ。その違いを考えるとき、見分

け方があるよ。

〈例〉①と②の「ない」が、否定の意味を表す助動詞か考えるとき

　　　 《 見分け方 》

　　　　　それぞれの「ない」を、否定の意味を表す助動詞「ぬ」に置き換えてみよう

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　○

　　　　　①　「道が分からない。」→「道が分からぬ。」

　　　　　　　　 …　否定の意味を表す助動詞「ない」である

 　　　×

　　　　　②　「地図もない。」→「地図もぬ。」

　　　　　　　　 …　否定の意味を表す助動詞「ない」ではない

　　　　　　　　　　（ここでは存在しないという意味を表す形容詞「ない」）

練習

否定の意味を表す助動詞「ない」を、ア～ウから選んで、記号で答えましょう。

　　　ア　庭には桜がない。　　　　　　　　　ア　それほど寒くない。

　①　イ　全然楽しくない。　　　　　　　②　イ　問題が解けない。

　　　ウ　教室から動かない。　　　　　　　　ウ　昨日から食欲がない。

解答　①ウ　②イ

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　否定の意味を表す助動詞「ない」を使って、短文を二つ以上作ってみよう。

国語　トライシート　三―⑤―一　　　名前

**月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。**

**つれづれなるままに、日暮らし、硯に向かひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。**

**古文―重要作品**

【解説】

今までにいろいろな古文を学習してきたね。日本を代表する古文をしっかり音読

**祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。**

して、その冒頭文を覚えよう。

練習

　　次の古文の冒頭文を読み、その作品名と、明らかなものは作者名(語り)を、線で結びましょう。

①　　　　　　　　 ②　　　　　　　 ③　　　　　　　　　　　　　 ④

**今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。**

**・　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　　 ・**

**・　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　　 ・**

「おくのほそ道」　 　「平家物語」　　　　 　「徒然草」 「竹取物語」

**・　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　　 ・**

**・　　　　　　　　　　 ・　　　　　　　　　　 ・**

琵琶法師(語り)　　　　　 松尾芭蕉　　　　　　　兼好法師

解答　①「竹取物語」作者不明　②「おくのほそ道」松尾芭蕉

③「徒然草」兼好法師　④「平家物語」琵琶法師(語り)



**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　練習に出てきた古文の中から作品を一つ選び、好きな部分を視写しよう。

★　選んだ作品

★　好きな部分

国語　トライシート　三―⑤―二　　　名前

**四字熟語**

【解説】

 四字熟語 は、四字の漢字で一つの意味を表すものだよ。どんなものがあるか、

辞典で調べてみるのもいいね。

練習

　　次の①～③の意味にふさわしい四字熟語を、後のア～オから選んで、記号で答えましょう。

　①　良いものは選び取り、悪いものは捨てること。

　②　一つのことをして、二つ以上の利益を得ること。

　③　始めから終わりまでのすべて。

　④　隠し立てをしないで正しく立派なこと。

　　 ア　一部始終　　イ　一石二鳥　　ウ　公明正大　　エ　取捨選択　　オ　無我夢中

解答　①エ　②イ　③ア　④ウ

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆　数字が入った四字熟語を、できるだけたくさん書いてみよう。

国語　トライシート　三―⑤―三　　　名前

送り仮名

置き字

（読まない）

送り仮名

返り点

**漢文―書き下し文**

【解説】

訓読文を、送り仮名・返り点・句読点に従って、漢字・仮名混じりで書いた文章を、

 書き下し文 というよ。送り仮名は、漢字の右下に歴史的仮名遣いの片仮名で書かれていて、返り点は、漢字の左下に付いていたね。

〈例〉

　　　あたたメテ ふるキヲ　　　　　　 レバ　　 シキヲ

　　　温　 故　而　知　新　　、　《 訓読文 》

　　　　 レ　　　　　　　　 　　　 レ

　　 きをめて新しきを知れば、 書き下し文

練習

　　次の訓読文を、番号を参考にして書き下し文に直しましょう。

　　 ① 　 ②　 ④　 ③　　　 ⑦　 ⑤ ⑥　　　　 ⑧

　 　 ビテ　　　　　　　　ニ　　　フ これ ヲ　　　　 ず　　 また よろこ バシカラ　 や

「　**学 而 時 習 之 、不 亦 説 乎**。」

　　　　　　　　　　 　　 レ　　　　　　　 二　　　　 一

解答 「学びて時にこれを習ふ、また説ばしからずや。」

**チャレンジコーナー**　練習ができたらやってみよう！教科書や辞典を参考にしてもいいよ！

☆「論語」の好きな章句を、書き下し文で書いてみよう。